

要旨

コロナで変わった人々の生活と影響

私がこの卒論を書こうと思ったきっかけは、一つのウイルスが広がり私たちの生活・当たり前が変わってしまったことから調査し調べてみたいと思ったことがきっかけでこの卒論を書くことにした。新型コロナウイルスは2019年12月に中国湖北省武漢市の原因不明の肺炎の集団発生から始まり、世界的な大流行に至っている。新型コロナウイルスはただのウイルスであるが私たちの生活を大きく変えていった。マスク着用が当たり前になり密を作らない環境が変わっていったのである。ここでは3つに絞って説明していくことにする。新型コロナウイルスによっておうち時間が増えたことによる影響と度々テレビで報じられているコロナ離婚、そして新型コロナウイルスによって変わった働き方について説明していく。まずはおうち時間が増えたことによる影響について説明していく。私は家族と過ごせる時間が増え楽しいのではないかという意見を持っていたが現実はそんなに甘いものではなかった。自殺する人が増えていることがわかった。おうち時間が増えたことで不安をためてしまったり、また若年層では授業がオンラインになったことで友達とコミュニケーション不足などが辛く、逃げるために自殺に走るというケースが多いという事実がわかった。私は自殺は個人の問題ではなく社会の問題であると考えている。新型コロナウイルスが広まり職を失う不安や友達と気軽に会えないストレスなどさまざまなマイナス要素がおうちに広がっていることが問題である。これらは決して個人だけの問題ではなく社会全体の問題だと言える。この問題を解決するのは簡単ではないが、解決になるカギは家族、友人などとのコミュニケーションを取ることが大切だと考える。こんな世の中だからこそ私たちは手を取り合っていくことが大切なのではないかと考える。

次にコロナ禍による離婚についてと働き方を話していく。この問題を調べていくうちにおうち時間が増えたことと働き方と関係があることがわかった。新型コロナウイルスによりリモートワーク（テレワーク）が導入されたことにより、おうちにいる時間が増えたことでストレスに繋がっていることがわかった。また夫婦間での家事を協力してやることもカギとなっていることがわかった。コロナ禍による離婚と聞いて新型コロナウイルスが直接的に関わっていることではないとわかったが間接的に関わり原因となっていることがわかった。またおうちにいる時間が増えたことで普段考えなかったことや夫婦のコミュニケーションを大切にしていくことでこのコロナ禍による離婚は減らしていくことができると私は考えている。働き方ではプライベートと仕事の境界線がないことが問題視されていることがわかった。リモートワーク（テレワーク）は常におうちでやる作業であることからメリハリを持ってやることが大切である。

その他にも問題はたくさんあるが私から言えることはこの新しい常態、ニューノーマル時代に私たちも対応していくこと幸せにつながるということである。